

2024. 3. 1 編集／発行

唐津市 環境課 電話 0955-72-9175



掲載記事一覧

- ウォータースタンド設置の取り組み
ウォータースタンドの効果
- 令和5年度「環境・エネルギーフォーラム in 唐津」
- リチウムイオン電池などの処分について

掲載記事に関連するSDGs



目標 12 つくる責任 つかう責任

ものを作ったり使ったりするときに、限りある資源を無駄にしないようにする。
また、環境破壊につながる大量生産、大量消費、大量廃棄という悪循環を変える。



目標 7 気候変動に具体的な対策を

人間の活動によって排出される二酸化炭素(CO2)などの温室効果ガスによって起こる地球温暖化を防ぐ。

ゼロカーボンシティを目指して



市とウォータースタンド(株)が令和5年4月6日に「プラスチックごみ削減の推進に関する協定」を締結したことで、現在市内9か所に給水スタンドが設置されています。

マイボトルの普及によりペットボトルなどの使い捨てプラスチック製品の使用を抑制するとともに、製造から廃棄までに発生するCO₂の削減にもつながります。

ウォータースタンド設置による ペットボトル・CO₂の削減シミュレーション

ウォータースタンド(株)提供

ウォータースタンド設置場所

市役所本庁 1階・6階

使用された水の量 6,297ℓ

(令和5年4月～12月まで)

ペットボトル (500ml) 換算量 12,594本分

① ペットボトルの製造から廃棄までに発生するCO₂想定量

【12,594本】×【一本当たりのCO₂発生量 0.119kg】= 1.50t-CO₂

出典：環境省 リユース可能な飲料容器およびマイカップ・マイボトルの使用に係る環境負荷分析について

② ペットボトルの水を運搬した際に発生するCO₂想定量 (運搬距離 100kmとする)

【6,297ℓ】×【トンキロ法によるCO₂排出量 0.0504×100km】= 31.74t-CO₂

出典：環境省 温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル (Ver4.8) (令和4年1月) 第Ⅱ編 温室効果ガス排出量の算定方法

③ マイボトルを使用した際のCO₂発生量

【12,594本】×【ステンレス製水筒のCO₂排出量 13.90g】= 0.18t-CO₂

出典：環境省 リユース可能な飲料容器およびマイカップ・マイボトルの使用に係る環境負荷分析について

「ペットボトルを消費した場合」と

「マイボトルを使用した場合」の削減されたCO₂排出量の差

… (①+②) - ③ = 33.06 t-CO₂



東京～福岡
飛行機
1人当たりの
約80往復分
CO₂排出量に
相当します

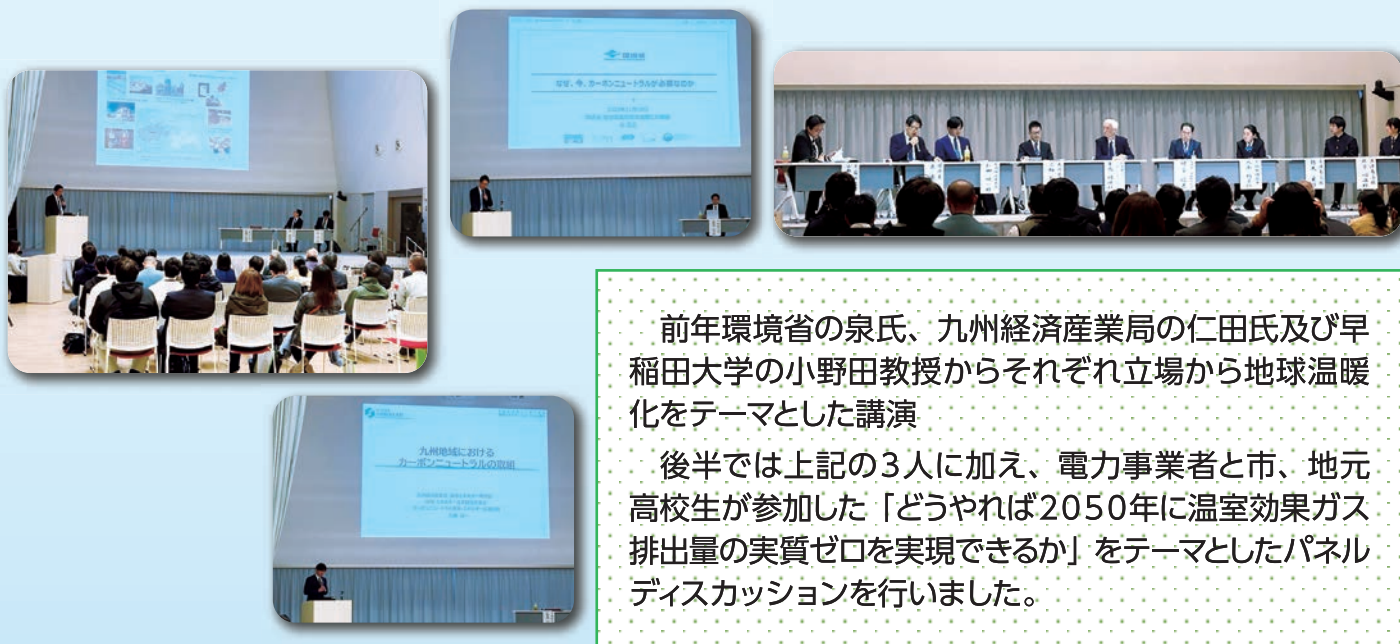


令和5年度「環境・エネルギーフォーラムin唐津」を開催しました!!

市では令和5年3月に2050年に二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを目指す「ゼロカーボンシティ」の宣言を行い、市内でのカーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に向けた取り組みを行っています。

取り組みの一環として、令和5年11月18日にボートレースからつで市民の皆さんが「カーボンニュートラル」への理解を深めるため基調講演やパネルディスカッションなどのイベントを開催しました。

基調講演 & パネルディスカッション



前年環境省の泉氏、九州経済産業局の仁田氏及び早稲田大学の小野田教授からそれぞれ立場から地球温暖化をテーマとした講演

後半では上記の3人に加え、電力事業者と市、地元高校生が参加した「どうやれば2050年に温室効果ガス排出量の実質ゼロを実現できるか」をテーマとしたパネルディスカッションを行いました。

イベント展示・エコ親子料理教室



電気自動車やEVバスの試乗会や市内外の事業者や市民団体の環境に関連した多くの事業内容についてのブースが展示されました。

また、環境に配慮し、なるべく生ごみを出さないように工夫した「エコ親子料理教室」も行い、大変好評でした。

リチウムイオン電池などの処分には注意が必要です

リチウム電池などの混入による発火発煙事故が発生しています。電池などの処分は、「唐津市家庭ごみの分け方・出し方」に従い、電気店にあるリサイクルボックスに入れるか、環境課または各市民センターまで持ち込むようお願いします。

リチウムイオン電池は、強い衝撃が加わると発煙・発火のおそれがあります。破碎・選別などの処理工程に混入すると発火することがあり、大変危険です。廃棄物の処理施設では、火災が多数発生しています。



提供：独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）



提供：公益財団法人日本容器包装リサイクル協会



提供：公益財団法人日本容器包装リサイクル協会

このため、リチウムイオン電池・電池使用製品の排出時には、以下の点を守ってください。



無理に 外さない

電池一体型の製品は、無理に取り外そうとせず、製品のまま排出する。



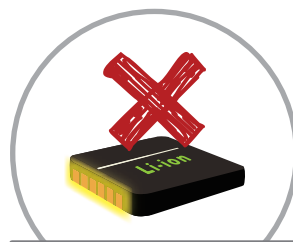
他の廃棄物と 混ぜない

リチウムイオン電池・電池使用製品は、その他の廃プラスチックや金属くずと分ける。



ぬらさない

雨や水にぬれない場所で保管する。



電池の端子部分を 露出させない

電池を取り外はせずせる場合は、ビニールテープなどで端子部分を覆う。



リチウムイオン電池・電池使用製品の判別方法

リチウムイオン電池本体には、リサイクルマークが表示されています。



電池使用製品には表示がなくても、「充電できる製品」や「電源につながなくても動く・光るなどする製品」には、リチウムイオン電池が使用されている可能性があります。

出典：環境省

以下のリサイクルマークが目印



リチウムイオン電池



ニカド電池



ニッケル水素電池



電気店にあるリサイクルボックスに入れるか、環境課または各市民センターまで持ち込むようお願いします。

ご不明な点は環境課（TEL72-9175）までお問い合わせください。